

第 70 回政策研究大学院大学経営協議会議事要旨

- 日 時 : 2018 年 4 月 23 日 (月) 14 : 30 ~ 16 : 07
- 場 所 : 政策研究大学院大学 会議室 3A
- 出席者 :
 - [学外委員]
奥委員、名取委員、長谷川委員、林(文)委員、林(康)委員、藪中委員
 - [学内委員]
田中学長、増山理事・副学長、横道理事・副学長、小島理事、道下学長特別補佐、宇佐美監事、林(礼)監事、佐藤大学運営局長
- 欠席者 :
 - [学外委員] 石田委員、今井委員、嶋津委員、板東委員
 - [学内委員] 角南副学長、園部副学長

I. 審議事項

1. その他
特になし。

II. 報告事項

1. 平成 30 年度運営費交付金の重点支援の評価結果について

大学運営局長から、平成 30 年度運営費交付金の重点支援の評価結果について、文部科学省からの通知に基づき評価項目、評価の観点、評点の点数化等の詳細について報告があった。

◆学外委員からの主な意見は以下のとおり。(○：学外委員、△：本学)

- ：今回本学の運営費交付金への影響は小さかったものの、文部科学省は正規分布に近い評価結果ができるよう評価基準を再考する必要があるのではないか。また、KPI の設定が低いところから改善したほうが非常に高い評価を得て、既にレベルが高いところはマイナス評価になるというのは評価制度としてふさわしくない。
- ：もともと絶対評価であったものを相対評価に直すということは無理がある。今回の結果に対して書面で意見を提出すべきではないか。
- △：現時点で書面での意見提出は予定していないが、今後の影響も考慮しつつ慎重に検討を行いたい。

2. 4 月入学者の受入れ状況について

大学運営局長から、2018 年 4 月入学者の受入れ状況について報告があった。

3. 2018 年度科学研究費助成事業の採択状況について

大学運営局長から、2018 年度科学研究費助成事業の採択状況について報告があった。

4. 2018 年度政策研究センター事業の採択結果について

大学運営局長から、2018 年度政策研究センターリサーチ・プロジェクト及び学術会議支援事業の採択結果について報告があった。

5. その他

田中学長から、GRIPS フォーラムの 2018 年度前期の予定について報告があった。

Ⅲ. 意見交換

1. 教育プログラムについて

横道理事から、教育プログラムの概要について説明があり、さらに公共政策プログラムインフラ政策コースについて家田コースディレクターから、Young Leaders Program について横道理事からそれぞれ学生の受入状況、カリキュラムの実施状況等について説明があった。

◆学外委員からの主な意見は以下のとおり。（○：学外委員、△：本学）

<インフラ政策コースについて>

○：インフラ政策を学ぶことを今最も必要としているのは地方自治体ではないか。自治体では特に老朽化した公共施設の保全等の課題に直面しているが、技術経験者の定年退職などもあり、現場で体系的に学ぶということが難しく、さらに民間との交流の機会も少ない。本コースでは現在民間企業からの学生受入れが多いようだが、ぜひ自治体からの受入れも積極的に検討していただきたい。

△：教育のキャパシティの問題もあるが、インフラ政策コース以外にも防災・危機管理コース、英語で行われる Disaster Management Policy Program, 博士課程防災学プログラム等一体的に実施しているプログラムもあり、今後自治体を含めて広く募集をすることを検討したい。

○：国内の地方自治体の需要に加え、アジアでの需要も高まっており、地下鉄、高速道路や自治体が行っている上下水道をどのようにインフラ輸出に結び付けていくのかという課題がある。

△：正規の学位プログラムの中でできることは限られているが、サマーセミナーで民間企業や国土交通省の協力を得て現地視察や講義を行っている。また、本学の政策的な分野に加え、工学系の大学との連携も実施している。留学生にはこれらの経験を通じて日本への理解を深めてもらい、関係性を構築することで日本企業等の海外進出の足がかりになればと考えている。

2. その他

特になし。

以上